

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	南アルプス みんなでつくる安全登山
事業主体 (連絡先)	大鹿村 村長 熊谷 英俊
事業区分	産業振興、雇用拡大 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ハード
総事業費	2,420,000 円 (うち支援金: 1,613,000 円)

事業内容

○登山口へ登山情報施設新設

登山者カード記入台・提出ポストを設置し、壁面に掲示板(ホワイトボード)を設置しました。登山道の状況については村や山小屋がホームページ等を活用し広報し、山関係の情報共有サイトを通じて登山者は情報共有を行っています。しかしながらインターネット環境が無い、またはそういったツールを使い慣れない登山者は未だに多く、そういった方々も含めて共有ができるよう、登山口前に誰でも記入することができる掲示板(ホワイトボード)を設置しました。登山者・山小屋・遭対協・行政がその時の登山道状況を記入し登山前に確認・共有をすることで、安全登山をつくりあげていきます。



【登山口前情報施設】

【目標・ねらい】

- ①登山者の事故の減少
- ②登山者(利用者数)の増加

事業効果

令和2年度については新型コロナウイルス感染症拡大防止により入山自粛要請を行っている為、今年度の事業効果については不明です。よって次年度目標を設定し令和3年度は22,600人。令和4年度は23,000人を目標に情報発信に努めます。

大鹿村内の南アルプス利用者数

平成30年 22,200人 令和元年 22,400人 ※毎年県へ報告
(発着、縦走を含めて。山小屋聞き取り、路線バス、登山口駐車場利用者数から推計)

※自己評価【B】

【理由】

事業効果についてはコロナ禍ということで検証できなかったが、利用しやすい施設を設置することが出来た。

今後の取り組み

今後は、今年度整備した情報施設内に登山マップ看板(三伏峠～塩見岳・小河内岳まで描かれたもの)を設置します。この登山マップ看板には注意箇所やおススメスポット等を記載し、登山直前にホワイトボードと合わせて確認いただくことで登山事故を未然に防ぐよう努めていきます。

令和3年の利用者数目標は22,600人。令和4年の利用者数目標は23,000人。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある